

市職労退職者の会

号 61 より
2022年 11月 28日

〈バスハイクの報告〉

マスク越しにも笑顔一杯

市職労退職者の会は、新型コロナの影響で中止し



街並みをゆっくりとみて回りました。

午前9時に福岡市役所前を45人乗りの大型バスに29人とゆつたりのスペースで乗車して出発しました。計画では午前11時には鹿島市浜宿に到着する予定でしたが、高速道路が事故発生の影響で大渋滞で1時間遅れの到着になりました。予定を急遽変更して昼食場の「キッチン浜宿」に直行、名物のウナギ料理と鯛のあら炊きを食べました。

午後は地元ボランティア・ガイドの方の案内で浜宿の旧家と街並みを見て回りました。西九州新幹線の開通でJR浜駅前には、土・日の観光客を迎え入れる準備などで忙しそうな様子です。でも、通りは平日の午後のせいかな通りはほとんどなく、街並みや家屋の説明などをゆっくりと聞くことが出来ました。

その後、嬉野市塩田津に移動して地元ガイドの方と待ち合わせ、2班に分かれて歴史散歩となりました。塩田津は有田焼の原料である磁石を島原から船で運び入れ、磁器の原料として粉碎して有田の運ぶ拠点として栄えたとのこと、現在もその流れで磁器原料の生成が行われているとの事でした。嬉野市塩田町は河川交通の要衝として発展し、その後も鉄道が敷かれ発展しました。しかし、西九州新幹線の開通で人の流れが変わることで発展から取り残されなれないかと不安の声が聞かれます。

てきた「バスハイク」を、10月20日(金)に3年ぶり実施しました。秋の日差しが眩しさを感じさせ「る好天に恵まれ、江戸時代から明治、昭和初期まで続いた歴史ある

塩田津に残る明治から昭和にかけて受け継がれてきた町屋の内装です。何度も見舞われた地域で、家屋を守るための水害対策の仕掛けが各所に残っています。現在、道路と街並みもきれいに整備されていますが、人通りは少ない状況とのことです。



第14回総会延期のお知らせ

市職労退職者の会役員会は、新年1月14日(土)に予定していた第14回総会の開催について次の通り決定しました。

新型コロナウイルス・ウイルス第8波の感染拡大が懸念されており、昨年は流行が無かったインフルエンザの同時感染も予想されています。そのピーク時が12月中旬～1月中旬と予想されていることから、開催時期を新年3月末以降に延期することを決めました。

詳しい日程と案内は2月役員会で決定してお知らせします。

《山登り同好会の報告》

秋の行楽シーズンを迎えて同好会では10月10日に東区にある三日月山・立花山(380m)、11月24日に西区の叶岳・飯盛山までの登山を行いました。

10月10日は三日月・立花山 子供から大人まで山頂には100人近くの人出で大賑わいでした。山頂からは眼下に博多湾が広がり、人工島からドーム球場、能古島までを見ることが出来ました。



11月24日は西区にある叶岳・高地山・日向山・飯盛山を約4時間かけて縦走でした。叶岳には地下鉄姪浜駅から西鉄バス野方行で生松台3丁目まで乗って登山口に行きました。叶岳登山口は叶ヶ滝薬師堂の横から始まる登山道で、

山頂まで急勾配の山道が約1キロほど続きました。1時間弱をかけて山頂に着き、そこから高祖山に続く縦走路を45分ほどかけて歩き糸島地域を望む展望所で昼食をとりました。その後、高地山(419m)・日向山を越えて、飯盛山に登りました。

コース全体は整備されていますが、起伏があつて

全体の標高差が500mで、特に飯盛山からの下山が急勾配で慎重に降りて全員無事三縦走することが出来ました。(高地山山頂からの展望です)

《新企画》

クリスマスと正月を『手作りのリース』で楽しく過ごしませんか

リース作りは男女を問わずどなたでも参加していただけます。材料はこちらで準備しますの、組合事務所に参加申し込みを行ってください。

記

日時 12月15日(木)13時～16時

会場 組合会議室(本庁5階)

参加費 3000円(材料費、交流費)

申込締切 12月8日

電話 092-711-4940(書記局)

キット内容

ペーパーしめ縄(土台) / ブルーベリー / ボックスウッド
/ ミニピンボンナム / ポインセチア / ゴールドリーフ
/ 松かさ / ミニヒイラギ / リボン / ダリア / 松 / ワイヤ
/ フローラルテープ / 水引 / タッセル

話題の窓

SDGsて何のこと?

SDGsという言葉が世界中で大きく叫ばれています。日本語では「持続可能な開発目標」と訳されていますが、世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、みんなで取り組んで2030年までに解決していこうという計画・目標です。特に世界中で異常気象が原因と思われる大雨で大規模な洪水や浸水が頻発し、他方で早魃による食料不足などの自然災害が多発し、地球温暖化がその大きな要因と言われています。

今年11月6日～18日までエジプトで開かれたCOP27(国連気候変動枠組条約第27回締約国会議)では、CO2など温室効果ガスをほとんど輩出していないアジア・アフリカなどの発展途上国、海面上昇で国土の浸水被害が拡大する島礁国から、日本を含む欧米先進国に対し資金拠出による基金創設で損失や被害からの回復を支援するための提案が出され厳しい交渉が行われ漸く合意されました。

先進国からの資金援助等で急速な経済成長が進む発展途上国では、開発利権に絡んだ乱開発によって自然環境の破壊と劣化がすすみ、土地・水・食料などの基礎的な生活基盤が大きく損なわれ、国民の間に格差と貧困が拡大するとともに「金と暴力」が地域を支配し、民族間の対立や内部抗争も激化して、内戦へと発展しています。

「SDGs」て何の事でしょう?